

ヒビ割れ補修に。



製造・販売元  
株式会社 **セイム**

〒302-0109 茨城県守谷市本町257-1  
製品に関するお問い合わせは、カスタマーサービスへ

**☎ 0120-603-565**

**受付時間 9:00～17:00(土日祝祭日を除く)**

**TASMAGIC**  
**タスマジック**  
**FOR PRO**

Made by Same Company Incorporated.

ホームページはこちら

セイム 検索  
www.e-same.biz



施工方法動画でチェック

YouTubeセイムチャンネル  
チャンネル登録をお願いします。



**施工方法は中面をご覧ください**

特許取得第 6637469 号 PAT 特開 2019-007280

## 使用上の注意点

- ※この補修剤セットは**平板スレート屋根材専用**ですのでそれ以外には使用しないでください。
- ※必ず屋外で使用してください。
- ※補修剤が硬化してから専用プレートとタスフィルムを同時に外してください。
- ※**気温10℃以下では使用しないでください。**また低温時(基準値(23℃)以下の場合)には硬化速度が遅くなり、浸透性が悪くなります。
- ※気温が低いときは、補修剤を混合前に少し温めると反応速度が速くなり浸透性もよくなります。
- ※スレート表面温度が高温の場合や気温が高い場合には硬化速度が速くなるので注意してください。
- ※補修剤をよく混合してからすぐに、スレートの割れ部分に塗布するようにお願い致します。
- ※塗装を行うときには、補修剤が完全に硬化してから塗装してください。  
(少なくとも表面が指触乾燥するまでは塗装を行わないでください。)

## 補修剤の硬化時間【表1】 ■ 晴れ ■ 曇り

| 気温        | 硬化時間   |        |
|-----------|--------|--------|
| 10℃(冬季)   | 180分以上 | 360分以上 |
| 23℃(春・秋季) | 60分以上  | 180分以上 |
| 30℃(夏季)   | 40分以上  | 100分以上 |

- ※晴れ:スレート表面に直射日光が当たっている場合。
- ※補修部には、補修してから24時間以内は衝撃を与えないでください。
- ※この値はあくまで弊社での実験値であり、保証値ではありません。  
(場所、状況、天気等により変化します)

## 安全対策

- 環境への放出を避けること。
- 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
- 取扱中は、皮膚に触れないように注意し保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣等の適切な個人用保護具を着用すること。
- 取扱後はよく手を洗うこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- この製品を使用するときには飲食または喫煙をしないこと。

## 応急処置

- ※吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動させ休息させる。
- ※皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。
- ※皮膚刺激、又は発疹が生じた場合には医師の診断/手当を受ける。
- ※眼に入ったり、接触した場合は、直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。
- ※飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項、ラベル、SDSを示す。

## 適切な保管方法

- ※10℃以上、40℃以下の日光が直接当たらない室内に保管する。

## 廃棄上の注意

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

## 火災時の措置

- 【適切な消火剤】  
アルコール泡消火剤/二酸化炭素/粉末消火器/乾燥砂
- 【消火作業時の特定の危険性】  
有害物質が発生する可能性がある/不完全燃焼すると一酸化炭素が発生する。

## 危険

- ※飲み込んだり、皮膚に接触したり、吸入すると有害。
  - ※アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがある。
  - ※重篤な眼の損傷。
  - ※遺伝性疾患を生じさせる疑い。
  - ※発がんの恐れ。
  - ※長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ。
  - ※水生生物に有害。
  - ※長期的継続的接触によって、水生生物に毒性。
- (主剤:可燃性液体類 硬化剤:危険物第4類第3石油類 非水溶性液体)



本補修剤の仕様や本説明書の内容は、予告無しに変更することがあります。

# タスマジック施工方法

**1**

折り線  
タスマフィルム  
専用プレート

タスマフィルムを図の様に折り、専用プレートをセットしてください。

- ※タスマフィルムがしっかりセットされていないと専用プレートと屋根材が密着してしまいます。
- ※タスマフィルムに挟み込む為の折り部分は、赤線部分(短い折り線)を折って、セットしてください。
- ※タスマフィルムは必ず、2ヶ所折って使用してください。

**2**

コグチストッパー  
専用クサビ

1でセットした専用プレートを補修部分に挿入してください。その後にコグチストッパーを屋根材下部(コグチ)に挿入してください

- ※あらかじめ、塗布面の汚れ、ゴミ、油分等を除去してから施工してください。
- ※挿入しにくい場合には、皮スキやスクレーパー、クサビ等を用いて隙間を確保してから挿入してください。
- ※タスマフィルムの範囲内に補修部分が収まる様に挿入してください。

**3**

ノズル  
補修剤本体を2つに折る(折り線があります)

主剤から硬化剤に向かって押し出す

主剤側から硬化剤側に押し出し、よく揉んで混合してください。

- ※混合前に絶対に開封しないでください。
- ※30秒を目安に全体をまんべんなく混合してください。

袋を広げて端まで混合させる

**4**

混合後、すぐに補修部分にノズルをあてゆっくりとタスマジックを塗布してください。

- ※混合後は袋に入れたままにしておく、袋の中で補修剤が発熱し大変危険です。混合後は素早く使用してください。
- ※補修剤の塗布は、タスマフィルム範囲内に収まる様に使用してください。

**5**

補修剤が流れ出した場合は、ヘラ等で掻き上げてください。

- ※夏場等の高温環境下では補修剤の浸透性が上がり、下方向に流れやすくなります。
- ※流れた補修剤は再度、補修部に塗布するか、不要な場合は拭き取ってください。
- ※勾配が急な場合(5寸以上)も同様に、タスマフィルム部分に流れやすくなります。1度に大量に塗布せず、少量ずつ使用してください。

**6**

タレ止めシート  
(右説明文中はシートと表現)

補修部全体をシートで覆い、落ち着かせます。

補修部分が凹んでいる場合は、シートをめくりタスマジックを注ぎ足してください。(この工程を数回繰り返します。)

ローラーやウェスを使って、シートの上からタスマジックを落ち着かせ、硬化を待ちます。

**7**

タスマジック硬化後にタレ止めシートをはがし、専用プレート、タスマフィルムの順に抜き取ります。タスマフィルムを抜き取る場合にはタスマフィルムの取っ手部分を引いて抜き取ってください。

- ※皮スキやスクレーパー等の工具を用いて隙間を確保してから抜き取り作業を行ってください。
- ※硬化時間は裏面「表1」の硬化時間を参照してください。
- ※屋根材から溢れ、タスマフィルム上で硬化した補修剤を除去してください。

補修部が上の屋根材の奥まで発生している場合

専用クサビ

補修部が上の屋根材の奥まで発生している場合、専用クサビを上屋根材小口部分に挿入し、隙間を確保してから補修してください。

- ※塗布後、硬化するまでは専用クサビを挿入したままにしてください。

連結方法(施工範囲が広い場合)

タスマフィルムを2枚用意し、2ミリ程重ねPP粘着テープでしっかりと貼り合わせてください。専用プレートはガイドレールをスライドさせて連結させます。以降は、通常の施工方法と同様に使用してください。